

下水道クイックプロジェクト推進委員会 設置趣旨

- 我が国の下水道処理人口普及率は平成 22 年度末で 75.1%（岩手県、宮城県、福島県の 3 県除く）に達し、ナショナルミニマムとしての整備が図られてきたところである。しかしながら、市街化区域等の人口が集中している地域においても、未だ多くの国民が汚水処理施設の整備を待っている状況にある。
- 一方、国、地方の厳しい財政状況や急増する老朽化施設への対応、さらには人口減少・少子高齢化社会の進展、生活様式、都市構造の変化等は、下水道計画の前提条件に大きな変化を与えることとなる。
- したがって、未だ残される多くの未普及地域の解消については、従来の考え方にとらわれず、設計、施工等の各段階において、社会情勢の変化を踏まえた見直しが急務となっている。
- このため、国土交通省では、平成 19 年に「下水道クイックプロジェクト社会実験」を開始し、既存の下水道技術にとらわれない新たな技術的なアイデアの募集とモデル都市の募集を行い、実施設における設計・施工・検証を通じた技術評価を行ってきたところである。
- 今後、こうした取り組みをより加速させ、有効性の検証による技術の一般化に加え、それらの技術の積極的な活用に向けた手引き書の整備、活用団体のフォローアップ等を推進していくことが求められている。
- 以上を踏まえ、「下水道クイックプロジェクト」を推進する上での技術的な諸課題について検討することを目的に、本委員会を設置するものとする。